

横浜開港150周年記念 第26回全日本少年軟式野球大会

感想文原稿用紙

(都道府県) 横浜代表 (チーム名) 横浜クラブ

(氏名) 小林 航大 (ポジション) 投手

この大会は、僕にとってとても良い経験になりました。横浜市大会や神奈川県大会に出場しましたが全国大会でのレベルの違いを感じました。僕は、この大会に出場することができ、とても幸せだと思います。全日本少年軟式野球大会では、投手戦になると思っていましたが相手チームは、強打者が揃っていて、むらなく攻めバランスが良いレベル高い相手でした。

僕は、選抜チームの主将という立場になって感じたことは、大会にむかうまでの短期間で選手同士コミュニケーションの大切さやチーム一丸となって戦う大切さを強く感じました。大会では2回戦で負けてしまったがとても良い経験をさせてもらった嬉しさでいっぱいです。キャプテンとして信頼を得る事が一番大変でした。チームで信頼を得るためにどうしたらよいか考え、実行したことは、みんながいやがるような仕事や準備をいかに一生懸命やりました。みんなに認められることがいかに大変で大切だということがわかりました。とても良い経験をさせていただきました。充実した時間を過ごせました。僕にとっていつまでも思い出に残る大会でした。大会関係者の皆様、本当にありがとうございました。